
【第34回 電気通信番号政策委員会】

**検討課題(2)：固定電話の番号ポータビリティについて
～アンケート調査結果～**

2024/5/30

固定電話の番号ポータビリティに関するアンケート結果（1/2）

■ 検討課題（2）：固定電話の番号ポータビリティについて

総務省がアンケートを実施した事業者のうち、当協会の会員事業者（NTT東西を除く）からの意見は、以下のとおり

問No.	質問内容	回答
3-1	固定電話番号における電気通信事業者の相互間の番号ポータビリティについて、番号ポータビリティが技術的に行えないケースとして、どのようなケースが考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 自社提供エリア外での番号ポータビリティを希望されるケース。 ② 社間で番号区画の相違がある場合に番号ポータビリティを希望されるケース。
3-2	ニーズがなく、固定電話番号における電気通信事業者の相互間の番号ポータビリティを実施する必要がないケースとして、どのようなケースが考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業者固有の特殊サービスであり、他の事業者で同様のサービスが無いケース。 ② 自社の指定番号からNTT東西メタルIP電話への番号ポータビリティを行うケース。 ③ NTT地域会社が定める公衆電話、臨時電話、支店代行電話の番号ポータビリティを行うケース。 ④ 株式会社日本緊急通報サービスへの番号ポータビリティを行うケース。

※一部、内容重複する場合がございますが、ご容赦ください。

固定電話の番号ポータビリティに関するアンケート結果（2/2）

問No.	質問内容	回答
3-3	固定電話番号における電気通信事業者の相互間の番号ポータビリティについて、そのほか考慮しておくべき事項はあるか。	<p>①双方向番号ポータビリティは運用開始に向けた検討中の段階であるため、今後の検討結果次第では、例外となる事例が発生することの考慮が必要。</p> <p>②相互間の番号ポータビリティ実現のための人的リソース、費用の確保が必要があり考慮が必要。</p> <p>③例外を認めた場合、発事業者側で番号ポータビリティの対象番号、非対象番号と設備への設定内容が異なる可能性があり運用が煩雑となる恐れがあり考慮が必要。</p> <p>④例外を許容すべきか、設定や運用観点でも検討が必要。</p> <p>⑤トラブル未然防止のため、他のサービスと組み合わせての使用の有無の観点の考慮が必要。例えば、固定電話番号をサービス呼の着信番号として紐付けていた場合に、その状態で番号ポータビリティを実施すると、転出先事業者がそのサービス呼の着信先として接続協定がなかったとしても接続されてしまい協定外呼が発生してしまう可能性がある等。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>構成員限り</p> </div> <p>⑦利用者の料金未納等により、移転元事業者がポートアウトを許容しない場合が想定されます。</p> <p>⑧番号ポータビリティ（ポートイン、ポートアウト）が出来ないことを許容するケースがあれば公平性の観点で共有が必要。</p>

※一部、内容重複する場合がございますが、ご容赦ください。

TCA

一般社団法人 電気通信事業者協会
Telecommunications Carriers Association